

各地域における取組

1 北足立地域における地産地消の取組状況

1 令和2年度重点目標

- (1) 県産農産物サポート店の登録推進
- (2) 農産物直売所（量販店地場産コーナーを含む）の販売向上への支援
- (3) 農商工連携の推進

2 令和2年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
通年	<p>(1) 県産農産物サポート店の登録推進（新規登録 10 店舗）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ファイブスターオーチャード 完熟大玉トマト</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>榎本農園 ぶどう 柿 トマト 等</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>松本園芸農場 キウイフルーツ 梨 等</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>七伍（居酒屋） 彩のかがやき 彩たまご 等</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>直売所等小売店…9店舗 飲食店……………1店舗</p> </div> </div>
通年	<p>(2) 農産物直売所（量販店地場産コーナーを含む）の販売向上への支援</p> <p>○JA農産物直売所等キャンペーンの開催を6回予定 →コロナウィルスの影響で未実施</p> <p>○市及び農業団体等が実施する地産地消活動の支援 各市で地域住民等を対象に農業体験を実施とその活動の支援 →コロナウィルスの影響で未実施</p> <p>○管内小中学校での栽培指導 小学校での田植え及び水稻の農業体験の実施と技術指導 →コロナウィルスの影響で未実施</p>

12月～2月

(3) 農商工連携の推進

○「農と食のオンライン展示・商談会 in SAITAMA 2021」への出展推進

管内の農業者等への出展推進及び出展に対する支援を行った。

(出展者数2団体)

通年

○埼玉県ふるさと認証食品の推進 (R3. 3末累計)

認証食品 47 製品 (新規登録2 製品)

うちプレミアム 14 製品

△新規登録商品 (PAN CAFE Gii (さいたま市緑区))



素焚糖のくまクッキー



クッキー (コーヒー)

通年

○新商品の開発

管内の生産者の加工品開発の支援を実施。



しそあんず
(あぜみち)



くわいチップクッキー
(見沼ひろま農園)



玄米ぱふ
(株) 壽農園



ミニトマト&原木しいたけ
(株) エノファ




大葉みそ
(あぜみち)

2 入間地域における地産地消の取組状況

1 令和2年度重点目標

- (1) 地元農産物のPR活動・販売支援
- (2) 6次産業化及び農商工連携の推進
- (3) 食育の推進

2 令和2年度取組状況

月日・時期	取組状況
11月13日	<p>(1) 地元農産物のPR活動・販売支援</p> <p>○彩の国マルシェ・ワカバウォークにおける地域農産物の販売</p> <p>鶴ヶ島市の若葉駅前のワカバウォークにおいて開催された「彩の国マルシェ・ワカバ・スタイル」にJAいるま野の「明日の農業担い手育成塾」の塾生7名並びに管内の若手農業者1名が入間地域で生産した農作物の販売を行った。新型コロナウイルスの感染防止対策で入場制限を行いながらの実施であった。</p> 
通年	<p>○ウェスタ川越県政情報コーナーでの農産物PR</p> <p>コバトンぬいぐるみを活用して、のぼり旗の設置や装飾、ポスター掲示を行い、施設利用者に対して県産農産物をPRした。</p> 

通年

○県産農産物サポート店の登録推進

540 店舗（新規登録 5 店舗）

11 月 13 日

(2) 6 次産業化及び農商工連携の推進

○農業の 6 次産業化研修会「自分に合わせた販路を見つける！販路開拓スキルアップセミナー」

講師に株式会社キースタッフ代表取締役副社長の伊藤順氏を迎えて、マーケティングの意義及び手法、魅力発信に必要な情報の整理方法、加工品開発の切り口等について講演会を実施した。

講演の後、参加者の各商品を取り上げ、商品化の着眼点、販路の提案などが行われた。

講演後、多数の農業者が講師とのアポイントメントを求めている。（参加者：農業者 19 人）



11 月 26 日

○農業の 6 次産業化研修会「具体的にわかる！実践する！ネット販売スキルアップセミナー」

講師に株式会社キースタッフ代表取締役社長の野口朋宏氏を迎え、EC 市場の動向及びネット販売に活用できるサービスの特徴の解説と、カート型ネットショップ「BASE」導入の実演が行われた。また、ネットショップ開設後は消費者との接点の確保が重要であることが示された。

講演後は通販サイト等を巡る意見交換会が行われ、デザインや機能等への評価や意見交換が行われた。（参加者：農業者 22 人）



○ふるさと認証食品の認証推進

認証食品 65 製品 (新規認証 2 製品)
うちプレミアム 36 製品



入間地域産大豆・米を使ったみそ 川越いもを使用した干しいも

(3) 食育の推進


親子クッキングコンテストの支援を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため開催中止となった。

3 比企地域における地産地消の取組状況

1 令和2年度重点目標

- (1) 農産物直売所等を活用した地元農産物PR活動の推進
- (2) 市町村、農協等が実施する地産地消活動の支援
- (3) 食育の推進
- (4) 地元農産物の加工利用推進

2 令和2年度取組状況

月日・時期	取組状況
	<p>(1) 農産物直売所等を活用した地元農産物PR活動の推進</p> <p>○浦和競馬場での地元農産物の販売・PR</p> <p>「浦和競馬 ～星降る里☆比企シリーズ～」に、各市町村の協力のもと、冠レースの施行、優勝者（馬主）への副賞品（比企地域産農産物加工品）の提供を行った。</p>  <p>(2) 市町村、農協等が実施する地産地消活動支援</p> <p>○比企地域産米の消費拡大活動支援</p> <p>4町（嵐山町、吉見町、川島町、鳩山町）の新米祭り等イベントにおける「彩のかがやき」等比企地域産米の試食を実施し、消費拡大事業に対する支援をした。</p> <p>○市町村が実施する地産地消運動を支援</p> <p>市町村、JA、農林振興センターからなる「比企地域農業振興協議会」の事業の一つ「食卓と畑を結ぶ地産地消運動等の支援」として、イベントでの地元農産物の配布によるPRなど、2町（嵐山町、吉見町）の地産地消運動の支援をした。</p>

(3) 食育の推進

○農業ビジネス支援課所管の「ふるさと支援隊」事業の活動が日本大学により実施されていたが、新型コロナウイルス感染防止対策により、令和2年度は実施されなかった。

○鳩山町は、令和2年度埼玉農産物の魅力再発見食育推進事業を活用し、食育教室（4回）及びレシピコンテストを開催した。コンテストで受賞したレシピは、レシピブックとしてまとめられ、配布された（200部）。



(4) 地元農産物の加工利用推進

○6次産業化研修会（ネット販売研修会）の開催

管内の食品加工を行う農業者等を対象にネット販売研修会を開催し、14名が参加した。

販路の拡大を図るため、中小企業診断士である河野悟先生を講師に迎え「ネットによる商取引の基本」について学んだ。



○ふるさと認証食品の推進

継続認証 7 製品 新規認証 4 製品





4 秩父地域における地産地消の取組状況

1 令和2年度重点目標

- (1) 地産地消運動の普及・啓発
- (2) 6次産業化及び農商工連携による地産地消の推進
- (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

2 令和2年度取組状況

月日・時期	取組状況
10月	<p>(1)地産地消の啓発・普及</p> <p>○「埼玉ブレイク」を活用したブランド野菜のPR</p> <p>「埼玉ブレイク」10月号の読者に対して、秩父地域の特産品「しゃくし菜の漬物」のプレゼント配布をおこなった。</p>
11月27日、 11月28日	<p>○ラジオ放送を活用した地域特産物のPR</p> <p>地域FM放送局である(株)ちちふFMに御協力いただき、「秩父カボス」のPRをおこなった。</p> <p>また、リスナープレゼントとして龍勢茶屋農産物直売所で農産物等購入された方に対し、先着順で「秩父カボス」および「しいたけ」を配布した。</p>
	<p>○秩父ゴールデンカボスのPR</p> <p>小鹿野町内18店舗の飲食店等で完熟した秩父かぼすを使用した料理イベントを開催した。</p>
12月4日 ～1月17日	<p></p> <p>イベントポスター</p>

2月20日

○秩父鉄道、秩父観光農林業協会と連携した秩父産農産物のPR
観光客が多く乗車するSLの車内（熊谷駅～長瀬駅間）で、秩父産農産物の試食キャンペーンを実施した。



2/20 SLストロベリーエクスプレス

通年

(2) 6次産業化及び農商工連携による地産地消の推進
○新商品の開発
管内の生産者の加工品開発の支援を実施。



ちちぶきゅうりぴくるす



もち麦かりんとう



柿渋あめ



柿渋あめ M

○6次産業化研修会の開催

6次産業化を推進するため、生産者に対し研修会を開催した。

開催日	研修内容	参加人数
2月25日	6次産業化支援研修（ポップデザイン研修 個別相談会） ・本来は集合研修で実際のポップを作成するワークショップを計画していたが、緊急事態宣言の延長を受けて、書面による研修と個別相談会に変更して開催した。	4人



個別相談会風景

通年

(3)ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進
○ふるさと認証食品の認証 更新5製品

5 児玉地域における地産地消の取組状況

1 令和2年度重点目標

- (1) 農産物直売所等を活用した地元農産物PR活動の推進
- (2) 市町村、農協及び商工会議所等が実施する地産地消運動の支援
- (3) 県産農産物サポート店及び特別栽培農産物利用店の推進
- (4) ふるさと認証食品の認証推進及びPR
- (5) 農商工連携及び6次産業化の推進

2 令和2年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況										
7月3日	<p>(1) 農産物直売所等を活用した地元農産物PR活動の推進</p> <p>○神川・上里梨PR隊の発足</p> <p>梨産地としての魅力向上を図るため、若手梨生産者による情報発信部隊「神川・上里梨PR隊」を結成し、地元産梨のPR活動を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">日時</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月3日(金)</td> <td>お披露目会</td> </tr> <tr> <td>8月27日(木)</td> <td>彩玉なし共進会</td> </tr> <tr> <td>9月1日(火)</td> <td>知事にオンラインで表敬訪問し梨をPR</td> </tr> <tr> <td>11月16日(月)</td> <td>地元小学校にて梨の授業を実施</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>“梨のライバル産地が手を組んだ” 神川・上里梨PR隊</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>お披露目会ではテレビ埼玉と地元ケーブルテレビが取材に訪れた</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>共進会では9点の彩玉が出品され、 外観や食味の審査を行った</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>神川町丹荘小学校5年生への梨の授業</p> </div> </div>	日時	活動内容	7月3日(金)	お披露目会	8月27日(木)	彩玉なし共進会	9月1日(火)	知事にオンラインで表敬訪問し梨をPR	11月16日(月)	地元小学校にて梨の授業を実施
日時	活動内容										
7月3日(金)	お披露目会										
8月27日(木)	彩玉なし共進会										
9月1日(火)	知事にオンラインで表敬訪問し梨をPR										
11月16日(月)	地元小学校にて梨の授業を実施										

6月30日

○見玉たまねぎ緊急販売（本庄市有機 100 倍運動推進協議会）

本庄市役所 1 階市民ホールにおいて、新型コロナウイルス感染拡大の影響により取引が大幅に減少した加工用たまねぎの即売会を実施し、地元産の良質なたまねぎのPRを行った。

12月21日

（2）市町村、農協及び商工会議所等が実施する地産地消運動の支援

○小さな見玉なす即売会（本庄市有機 100 倍運動推進協議会）

本庄市役所 1 階市民ホールにおいて、収穫時期の最後に残った「小なす」のおいしさを広めるため即売会を実施した。



販売した小なす



即売会の様子

通年

（3）県産農産物サポート店、特別栽培農産物利用店の推進

○県産農産物サポート店の新規登録（4店舗）



トラットリア CIAO（本庄市）



石挽蕎麦 小川家（本庄市）

通年

（4）ふるさと認証食品の認証推進及びPR

○県ふるさと認証食品の認証（継続8製品）



フォンテ・ディ・ディーオ
白い宝石 神川梨のシャーベット



美里 EGOMA ファーム
美里町産えごま油『輝』-KAGAYAKI-



ハバネロホットソース



あんのさんちの手作りブルーベリー&ラムジャム

8月26日

(5) 農商工連携及び6次産業化の推進

○6次産業化研修会「ネット販売の始め方～初心者が始める時の注意点～」

埼玉県よろず支援拠点の高橋信氏、近藤美恵子氏を講師に招き、ネットショップの構築と運営、食品を扱う注意点についての研修会を開催した。



『ネットショップの構築と運営について』



『ネットショップで食品を扱う注意点について』

11月30日

○本庄地区農業の6次産業化交流会

管内で6次産業に取り組む又は志向する農業者と食品関連事業者との交流会及び商談会を開催した。

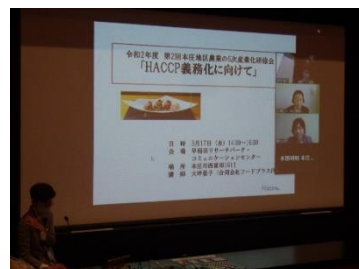


商談会の様子

3月17日

○本庄地区6次産業化研修会「HACCP義務化に向けて」

フードビジネス支援を行っている合同会社フードプラス代表大坪晏子氏を講師に招き、HACCP義務化に向けての研修会をZOOM開催した。





ZOOM研修会の様子

6 大里地域における地産地消の取組状況

1 令和2年度重点目標

- (1) 地産地消運動の推進
- (2) 地場産農産物の加工利用促進
- (3) 食育の推進

2 令和2年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
通年	<p>(1) 地産地消運動の推進</p> <p>○県産農産物サポート店とふるさと認証食品の登録推進</p> <p>県産農産物サポート店新規登録数 4店舗</p> <p>ふるさと認証食品 継続認証17製品、新規認証2製品</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p style="text-align: center;">柿沼養魚場 もろこ煮付(左) と もろこ甘露煮(右)</p>
11月11日	<p>○丸系八つ頭の出荷開始</p> <p>JAふかや南部野菜協議会根菜部は、JA全農さいたま青果ステーションにて、深谷市の特産野菜「丸系八つ頭」の出荷を開始した。</p> <p>丸系八つ頭は通常のものとは異なり、皮がむきやすいのが特徴。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">丸系八つ頭</p>

<p>1月6日 ～8日</p>	<p>○浦和競馬場にて地域特産物のPR販売 1月6日（火）から8日（金）の3日間「農業王国ふかや」シリーズとして、深谷市協賛レースへの副賞の提供を行った。</p>
<p>1月12日 ～2月26日</p>	<p>（2）地場産農産物の加工利用促進 ○食と農のオンライン展示・商談会におけるPR 大里管内から3団体が展示商談会へ出展し、地元農産物を使った6次商品をPRした。具体的な商談の手ごたえを得た事業者もあり、地元農産物の消費拡大の推進に貢献することができた。</p>
<p>10月22日</p>	<p>（3）食育の推進 ○小学生を対象としたキッズガーデニング教室を実施 深谷市の若手鉢物生産者が深谷市内の小学生を対象に鉢花の寄せ植え体験「キッズガーデニング教室」を行っている。 キッズガーデニング教室では、生産者が栽培した鉢花から好きな品目を選んでもらい、プランターへの植込みを体験してもらった。 今後も未来につながる普及・消費活動として継続し、花の需要拡大を目指していく。</p> <div data-bbox="678 1070 1102 1384" data-label="Image"> </div> <p>キッズガーデニング教室の様子</p>

5月～2月 ○「みどりの学校ファーム」実施校への資材等提供

小中学校単位で農園を設置し実際の農業体験を通して生命、自然や食物などに対する理解を深めるカリキュラムに必要な資材提供を行った。

管内の小中学校では種まき・植付けから収穫までの過程を授業に組み込んで実施している。収穫した農作物を給食の食材として使用している学校もあり、子供たちは自分たちで育てた農作物を食べる経験を通して様々な事を感じ、学ぶ機会となっている。



小学校での農作業体験の様子

7 加須地域における地産地消の取組状況

1 令和2年度重点目標

- (1) 地産地消の取組による消費者への理解の促進
- (2) 農産物直売所の活性化による地産地消の推進
- (3) 地場農産物の加工品の開発及び販路の開拓

2 令和2年度取組状況

月日・時期	取組状況
通年	<p>(1) 地産地消の取組による消費者への理解の促進</p> <p>○埼玉県ふるさと認証食品の推進</p> <p>認証件数 26 製品（新規 2 製品 継続 24 製品） うちプレミアム 18 製品</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>遠藤農園 いちじくのしゃべっと</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>浮城の梨ジャム</p> </div> </div>
10月	<p>(2) 農産物直売所の活性化による地産地消の推進</p> <p>○管内ブランド農産物のPR</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、当初計画していた農産物直売所でのブランド農産物プロモーションが開催できなかった。そのため、加須農林振興センターHPにて、行田在来えだまめ、いちじく、きゅうり、米のPRを行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>今が旬の「えだまめ」、「いちじく」を是非ご賞味ください！</p> <p>行田在来「えだまめ」の販売が最盛期です。</p> <p><small>芳ばしい香りとしっかりとした食感が味わえる逸品です。 古くから行田地域で栽培されてきた行田在来「えだまめ」が、JAほくさいの行田農産物直売所やイオン羽生店で販売中です。10月初めから10月20日頃までのわずかな期間しか味わえない限定品です。</small></p>  </div> <div style="width: 48%;"> <p>美味しい北埼玉の「新米」、「きゅうり」を是非ご賞味ください！</p> <p>稲刈りもほぼ終了し、新米が店頭に並んでいます。</p> <p><small>県内でも貴重な耕作地帯の当地域では、今年も「彩のかがやき・彩のみぎな」の収穫も順調に進み、JAほくさいの各農産物直売所で新米まつりが行われました。 引き継ぎ、地産ブランドをご賞味いただき、農産新米を味わってください。</small></p>  </div> </div>

7月～12月

(3) 地場農産物の加工品の開発及び販路の開拓

○加須市役所内で月1回、農家の『手作り加工品』をPR販売

「加須市6次化商品販促グループ」は、第3火曜日の正午から午後1時までの間、会員が開発・製造した商品を持ち寄って、市役所職員や来庁中の市民の皆さんに販売した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により限られた期間の販売となったが、ホンモロコ煮付け、ジャム、焼菓子、アイスクリームなど、好評だった。



当日の様子

通年

○開発した6次産業化商品の販路拡大支援

管内で開発支援を行った6次産業化商品の更なる販路拡大支援を行った。地元スーパー等新規販売先の確保につながった。



まるごといちじくゼリー



ホンモロコの煮付

通年

○6 次産業化商品（干しいも）の新規開発支援

さつまいもの生産から収穫、加工、販売を新規で行う取組を支援した。当センターでは、栽培・保存方法、乾燥機の購入支援、干芋切り機の貸し出しなども支援した。

商品は JA ほくさい加須農産物直売所で販売し、好評であった。



新たに開発した干しいも

8 春日部地域における地産地消の取組状況

1 令和2年度重点目標

- (1) 地元農産物の販売支援活動
- (2) 6次産業化の支援活動
- (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

2 令和2年度取組状況

月日・時期	取組状況
7月～12月	<p>(1) 地元農産物の販売支援活動</p> <p>○農産物プロモーション</p> <p>ブランド農産物のPRのため、「彩玉」、「丸系八つ頭」、「越谷完熟いちご」の販促資材を作成し、管内直売所や飲食店で配布を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="446 817 758 1276"> <p style="text-align: center;">表</p> </div> <div data-bbox="782 817 1077 1254"> <p style="text-align: center;">裏</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p>彩玉リーフレット(500枚)</p> <p>配布場所: 管内直売所、量販店 計6店舗</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="454 1355 758 1657"> <p style="text-align: center;">越谷完熟いちご販促ステッカー(220枚)</p> <p style="text-align: center;">配布場所: 越谷市内飲食店</p> </div> <div data-bbox="901 1366 1396 1646"> <p style="text-align: center;">丸系八つ頭販促資材(マスク封入)(500枚)</p> <p style="text-align: center;">配布場所: アグリパークゆめすぎと</p> </div> </div>
10月19日～23日	<p>○浦和競馬場連携によるPR</p> <p>10月19日～10月23日に浦和競馬場で春日部地域の特産品等の名称とした協賛レースが開催された。一部のレースでは、副賞として管内の梨で製造された梨カレーが贈呈された。</p>



日付	レース名称
10月19日	宮代産ブランド米「みやしろっ子」賞
10月19日	埼玉の美味しい梨賞
10月20日	宮代のぶどう、ひとつぶどうで賞
10月20日	魅力発見！埼玉農業賞
10月21日	蓮田の梨はウマいで賞
10月21日	埼玉地域は米どころで賞
10月22日	埼玉 彩のきずな賞
10月22日	埼玉地域観光農園いっぱい賞
10月23日	シャキッと美味しい蓮田梨賞
10月23日	野菜いっぱい埼玉地域賞

(2) 6次産業化への支援活動

農業の6次産業化を支援するため、各種研修会の開催、新商品開発支援、商品PR支援を実施した。

3月12日
3月16日

○各種研修会の開催

「農業経営の「らしさ」を瞬時に伝える～CIの考え方～」 参加者 13名
「これからの農業経営に必要なデザインの考え方」 参加者 14名

4～3月

○新商品開発支援及び県事業推進

個別巡回により、事業者の取り組みに応じて、新商品開発支援、専門家派遣や県事業推進を行った。

新商品開発 7品目

1月12日～
2月26日

農と食のオンライン展示・商談会 inSAITAMA2021 参加6団体
アルファイノベーション(株)、(株)エコミュ、高砂製菓(株)、つむぎや、(株)ヒロファーム、渡邊梨園

(3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

○県産農産物サポート店の登録推進

新規登録店舗 6店舗

○ふるさと認証食品の認証推進

新規認証商品(写真) 4製品

継続認証商品 7製品



折原果樹園
いちごjam



ストロベリーショートケーキ
マドレーヌ



まるしん
網焼きあられ 吉川マドレーヌ



令和3年度 地域における地産地消運動の活動計画

地 域	重 点 目 標
さいたま	(1) 県産農産物サポート店の登録推進 (2) 農産物直売所（量販店地場産コーナーを含む）の販売向上への支援 (3) 農商工連携及び6次産業化の推進
川 越	(1) 地元農産物のPR活動・販売支援 (2) 6次産業化及び農商工連携の推進 (3) 食育の推進
東松山	(1) 農産物直売所等を活用した地元農産物PR活動の推進 (2) 市町村、農協等が実施する地産地消活動の支援 (3) 食育の推進 (4) 地元農産物の加工利用推進
秩 父	(1) 地産地消運動の普及・啓発 (2) 6次産業化及び農商工連携による地産地消の推進 (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進
本 庄	(1) 地元農産物PR活動の支援 (2) 市町、農協等が実施する地産地消運動の支援 (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進 (4) 6次産業化及び農商工連携の推進
大 里	(1) 農産物直売所の活性化による地産地消の推進 (2) 地場産農産物の加工利用促進 (3) 食育の推進 (4) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進
加 須	(1) 地産地消の取組による消費者への理解の促進 (2) ブランド農産物のPRによる地産地消の推進 (3) 地場農産物の加工品の開発及び販路の開拓
春日部	(1) 地元農産物の販売支援活動 (2) 6次産業化の支援活動 (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進